



人間系コロキアム

第15回

2015年

3月18日(水)

16:00~18:30

総合研究棟
A棟 A110

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会
(コロキアム運営担当)

✉research@human.tsukuba.ac.jp

筑波大学 人間系コロキアム

障害と共生社会：大学で、地域で

講演1：へき地・被災地・途上国ついでに少年
鑑別所—“応用”共生人間科学の現場から
筑波大学人間系准教授 塩川 宏郷

symbiosisという用語に病理的な意味があると遥か昔の学生時代に知って以来、共生ということばを意識してきたことはなかった。卒業後比較的一貫性のないキャリアを重ねて来たが、見てきたものはまさに“応用”共生人間科学の現場であったと理解するにいたった。学術的な視点を少々離れ、多様な人々の生活の場における私的な「多様な共生のかたち」体験を共有し、めざすべき地域社会のありかたを考えるための話題提供としたい。

講演2：障害学生支援の現状と課題

筑波大学人間系講師 名川 勝

国連・障害者権利条約の批准とこれに伴う国内法整備などの状況変化に伴い、大学等における障害学生支援のあり方も変化しつつある。本学では共生キャンパスを目指して早期より障害学生支援に取り組んでいるが、なお様々な課題がある。本講演では、日本学生支援機構が平成17年度より実施している障害学生支援に関する全国調査のとりまとめについて、その作業途中の資料を紹介するとともに、それらから見える現状と今後の支援について、本学での現況を踏まえて論じる。

Education
Psychology
Disability Sciences